



赤外線ヒータ式金型加熱器

加熱時間の短縮と 高温雰囲気下での 耐久性を向上



背景・目的

鋳造工場では、鋳造を開始する前に金型を予熱しています。この金型の予熱工程向けに、赤外線ヒータ式金型加熱器「HIGH POWER金型加熱器」を2014年11月に開発しました。今回、「さらに加熱時間を短縮したい」「高温雰囲気でも連続使用したい」というお客さまからのご要望にお応えするために改良を行い、「HIGH POWER金型加熱器TOUGH」を開発しました。

特長

- 従来品に比べて加熱時間が10～20%短縮
- 400～500℃の高温雰囲気での連続使用が可能

特許出願中

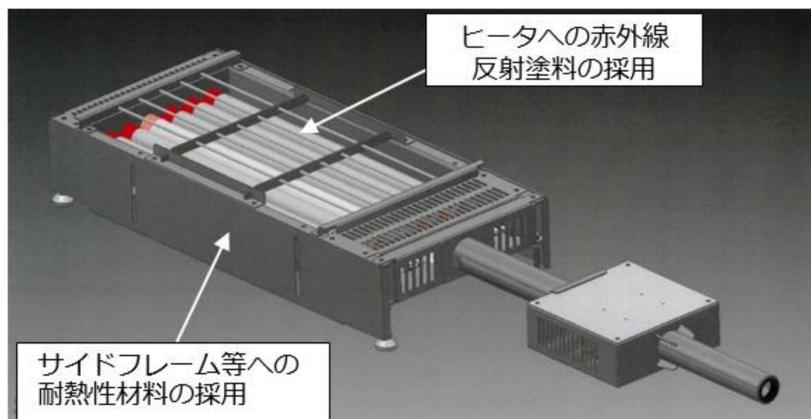
用途

高温耐久性をご要望される鋳造工場のお客さまに提案し、金型の加熱工程における課題解決にお役立ちします。

- 低圧鋳造金型の予熱
- 重力鋳造金型の予熱

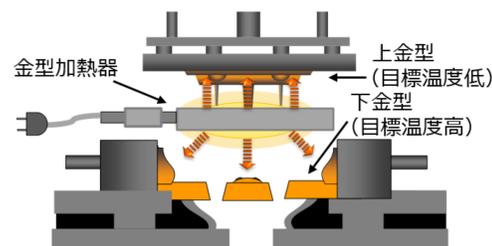
HIGH POWER 金型加熱器 TOUGHの仕様

項目	仕様
定格電圧	三相 AC200V
定格消費電力	18kW
ヒータ仕様	3kW×6本（反射塗料付き）
有効発熱長	W190mm×L400mm

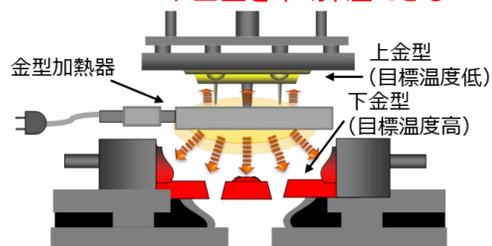


HIGH POWER 金型加熱器 TOUGHの外観

従来品
・ 上・下金型への赤外線放射が同じ
・ 下金型の昇温に時間がかかる



開発品
・ 下金型への赤外線放射が多い
・ 下金型を早く昇温できる



金型加熱のイメージ

開発者の
ひとこと

「高温雰囲気でも連続使用したい」といったお客さまからのご要望に、従来品からのコストアップを抑えつつ、お応えする必要がありました。金型加熱時に特に高温になりやすい箇所を見極めることで耐熱性を向上させました。